

第2回あつぎ子ども議会（中学生議会）会議録

厚 木 市

第2回あつぎ子ども議会（中学生議会）会議録

平成28年8月17日（水）午後1時13分開会

出席議員 24人

1番	厚木中学校	庄司	夕姫
2番	小鮎中学校	古谷	未緒
3番	厚木中学校	高津	良介
4番	荻野中学校	二瓶	凜
5番	小鮎中学校	一條	渉
6番	厚木中学校	藤川	紗亜花
7番	睦合中学校	早川	くるみ
8番	森の里中学校	古根村	茅咲
9番	荻野中学校	長谷川	菜実
10番	小鮎中学校	萱島	茉広
11番	南毛利中学校	西田	早都子
12番	睦合東中学校	池田	徹太
13番	相川中学校	関戸	和香奈
14番	睦合東中学校	升方	啓太
15番	小鮎中学校	井上	和将
16番	厚木中学校	藤生	優毅
17番	南毛利中学校	開沼	琴音
18番	南毛利中学校	馬場	友聖
19番	南毛利中学校	加藤	大宗
20番	平塚中等教育学校	近藤	万里菜
21番	荻野中学校	遠藤	耕聖
22番	相川中学校	赤川	すみれ
23番	小鮎中学校	佐々木	遥花
24番	睦合東中学校	綿貫	創太

欠席議員 なし

説明のための出席者

市副副理事	市長	小霜	林島	常宏	良美
副市長	市長	松井	島本	徳世	彦郎
理事(農林水産担当)	市長	井鳥	樋井	徳世	一郎
政策部	部長	葉	山	健神	一
オリンピック・パラリンピック担当	部長	相	原		保
総務部	部長	青安	木齊	達博	之之
文書法制課	部長	野元	元澤	優栄	薰子
財務部	部長	野元	元澤	美	子
福祉部	部長	岩瀬	村野	寿尚	志二
市民健康部	部長	小高	野澤	裕利	忠男
子ども未来部	部長	古小	島野	正	満夫
市民協働推進部	部長	矢足	原	幹俊	春昇
危機管理部	部長	立	原		修夫
環境農政部	部長	栗森	下泉	轄	利孝
環境施設担当部	部長	小石	塚中	正典	二喜
河川みどり部	部長	田相	澤藤	亮佐	晃治
産業振興部	部長	加平	野木	重	夫
まちづくり計画部	部長	鈴内	田田	高明	則明
許認可担当部	部長	曾加	藤藤	雅英	毅
市街地整備部	部長	須荒	井藤		睦彦
まちづくり推進担当部	部長	加武	尾井	行	
道路部	部長	白			
国道調整担当部	部長				
会計管理	者				
消防	長				
病院事業局	長				
教育	長				
教育委員会教育総務部	長				
教育委員会学校教育部	長				
教育委員会社会教育部	長				
選挙管理委員会事務局	長				
監査事務局	長				
農業委員会事務局	長				

事務局出席者

事務局	局長	大貫	秀行
議会総務課	長	武藤	慎一
議会総務課	主査	大森	和彦

速記員出席者

(株)澤速記事務所	速記士	大場	久美子
-----------	-----	----	-----

議 事 日 程

- 1 議席の指定
- 2 会議録署名議員の指名
- 3 会期の決定
- 4 一般質問

番号	学校名	子ども議員名	質問要旨
1	厚木中学校	庄司 夕姫	厚木市の防災対策はどのようになっていますか
2	小鮎中学校	古谷 未緒	中学生を巻き込んだ防災訓練を実施するか
3	厚木中学校	高津 良介	遊興場の増加防止や数を減らすことはできないでしょうか
4	荻野中学校	二瓶 凜	川沿いへ電灯をつけたり、電灯の修理をすることはできないのですか
5	小鮎中学校	一條 渉	自転車専用レーンを市内のどれくらいの範囲で整備していく予定なのか
6	厚木中学校	藤川 紗亜花	厚木市が友好都市と行っている活動内容とその利点は
7	睦合中学校	早川 くるみ	新生児に対するサービスはどのようなものですか
8	森の里中学校	古根村 茅咲	学校により、日課に違いがあるのはなぜでしょうか
9	荻野中学校	長谷川 菜実	通学のバス代について
10	小鮎中学校	萱島 茉広	従来の学習に加え、タブレットを導入する可能性は
11	南毛利中学校	西田 早都子	厚木産の豚をアピールする取り組みは
12	睦合東中学校	池田 徹太	I S S の活動を広げていきたいと考えていますが、何かアドバイスがありますか
13	相川中学校	関戸 和香奈	図書館の設備を工夫する考えは
14	睦合東中学校	升方 啓太	厚木市ではポイ捨てをなくすために、どのような活動を行っているのか
15	小鮎中学校	井上 和将	子どもたちが安全・安心に遊べる公園づくりは
16	厚木中学校	藤生 優毅	厚木市の商業の今後について、どのようにお考えか
17	南毛利中学校	開沼 琴音	本厚木駅周辺の発展を進めては
18	南毛利中学校	馬場 友聖	厚木市の税金や予算などを、福祉・子育ての他にどのように使っていく方針ですか。また、どんな厚木市にしていきたいですか
19	南毛利中学校	加藤 大宗	アミューはいらないという意見を少なくし、遊びやすく、人が集まるアミューに今後どのようにしていくのか
20	平塚中等教育学校	近藤 万里菜	なぜアミューの食事をするところを地下に作ったのですか

本日の付議事件

- 1
 - く 議事日程に同じ
 - 4
-

○松田則康実行委員長 皆様、こんにちは。
第2回あつぎ子ども議会中学生議会にご参加
をいただきまして、まことにありがとうございます
います。

開会前に、出席者のご紹介をさせていただきます。

初めに、子ども議員を紹介いたします。

子ども議員の前列から順に紹介しますので、
名前が呼ばれましたら、元気よく返事を
していただき、起立、礼、着席の順で願
います。

厚木中学校・庄司夕姫議員。

○庄司夕姫議員 はい。

○松田則康実行委員長 小鮎中学校・古谷未
緒議員。

○古谷未緒議員 はい。

○松田則康実行委員長 厚木中学校・高津良
介議員。

○高津良介議員 はい。

○松田則康実行委員長 荻野中学校・二瓶凜
議員。

○二瓶 凜議員 はい。

○松田則康実行委員長 小鮎中学校・一條涉
議員。

○一條 涉議員 はい。

○松田則康実行委員長 厚木中学校・藤川紗
亜花議員。

○藤川紗亜花議員 はい。

○松田則康実行委員長 睦合中学校・早川く
るみ議員。

○早川くるみ議員 はい。

○松田則康実行委員長 森の里中学校・古根
村茅咲議員。

○古根村茅咲議員 はい。

○松田則康実行委員長 荻野中学校・長谷川
菜実議員。

○長谷川菜実議員 はい。

○松田則康実行委員長 小鮎中学校・萱島茉
広議員。

○萱島茉広議員 はい。

○松田則康実行委員長 南毛利中学校・西田
早都子議員。

○西田早都子議員 はい。

○松田則康実行委員長 睦合東中学校・池田
徹太議員。

○池田徹太議員 はい。

○松田則康実行委員長 相川中学校・関戸和
香奈議員。

○関戸和香奈議員 はい。

○松田則康実行委員長 睦合東中学校・升方
啓太議員。

○升方啓太議員 はい。

○松田則康実行委員長 小鮎中学校・井上和
将議員。

○井上和将議員 はい。

○松田則康実行委員長 厚木中学校・藤生優
毅議員。

○藤生優毅議員 はい。

○松田則康実行委員長 南毛利中学校・開沼
琴音議員。

○開沼琴音議員 はい。

○松田則康実行委員長 南毛利中学校・馬場
友聖議員。

○馬場友聖議員 はい。

○松田則康実行委員長 南毛利中学校・加藤
大宗議員。

○加藤大宗議員 はい。

○松田則康実行委員長 平塚中等教育学校・
近藤万里菜議員。

○近藤万里菜議員 はい。

○松田則康実行委員長 荻野中学校・遠藤耕
聖議員。

○遠藤耕聖議員 はい。

○松田則康実行委員長 相川中学校・赤川す
みれ議員。

○赤川すみれ議員 はい。

○松田則康実行委員長 小鮎中学校・佐々木
遥花議員。

○佐々木遥花議員 はい。

○松田則康実行委員長 睦合東中学校・綿貫
創太議長。

○綿貫創太議長 はい。

○松田則康実行委員長 次に、厚木市議会議
長を紹介いたします。

子ども議員の皆様の後ろ、越智一久厚木市
議会議長です。

○越智一久厚木市議会議長 越智でございます。よろしく申し上げます。

○松田則康実行委員長 次に、市の関係者を紹介させていただきます。

子ども議員の皆様から向かいまして左手前列、右から、小林常良厚木市長です。

○小林常良市長 こんにちは、よろしく申し上げます。

○松田則康実行委員長 そのお隣が霜島宏美副市長です。

○霜島宏美副市長 皆さんこんにちは、よろしくお願ひいたします。

○松田則康実行委員長 そのお隣が松本徳彦副市長です。

○松本徳彦副市長 皆さんこんにちは、よろしく申し上げます。

○松田則康実行委員長 右手前列にまいりまして、曾田高治教育長です。

○曾田高治教育長 こんにちは、頑張ってください。

○松田則康実行委員長 最後に、両側の2列目以降につきましては市の各部長等となりますが、お手元に配付の資料により紹介とさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、子ども議員の皆様並びに理事者の皆様、ご起立願ひます。

一同、礼。

ご着席願ひます。

ここで越智一久厚木市議会議長よりご挨拶をいただきます。

○越智一久厚木市議会議長 (登壇) 子ども議員の皆さん、こんにちは。本日は、第2回あつぎ子ども議会中学生議会にご参加をいただき、ありがとうございます。私は厚木市議会議長の越智一久と申します。

今、私たちがいるこの議場は、厚木市民に選ばれた厚木市議会議員が一堂に会し、市民の暮らしに関する大切なことなどを市長や教育長、部長職の皆さんたちと議論をし、決定する場所です。議会につきましては、子ども議員の皆さんも学校で学んでいられると思いますが、実際にこの議場に入り、席に

座ってみて、どのような感想をお持ちでしょうか。自分たちの住むまちに関心を持ち、皆さんが意見を出しながら、自分たちのまちのことを自分たちで決めていくことは、とても大切なことだろうと思います。

今回の貴重な経験は、皆さんのこれからの人生において必ず役立つものだと信じ、また、これをきっかけに、皆さんの心の中に、自分たちのふるさとである厚木市のために積極的にかかわり、頑張りたいと思う人があらわれてくれることを期待しているところであります。

厚木市議会の議場という皆さんにはなれない場所での開催のため、緊張をするかもしれませんが、皆さんの質問を楽しみにしておりますので、元気よく、大きな声で質問をしていただければと思います。

それでは、本日は短い時間であろうかと思ひますけれども、よろしくお願ひいたします。

○松田則康実行委員長 ありがとうございます。

次に、小林常良厚木市長よりご挨拶をいただきます。

○小林常良市長 (登壇) 皆さん、こんにちは。今お話をいただきました厚木市長の小林と申します。

きょうは24人の中学生の議員の皆様にご出席を賜りまして、まことにありがとうございます。どうですか、席の座り心地は。緊張していませんか、大丈夫ですか。気持ちを楽しにして、24人の子ども議員の方々と私どもと、ともに意見をキャッチボールさせていただき、そのキャッチボールの議論がよりよい形で実現できるよう、私どもも子ども議員の皆様誠心誠意、取り組ませていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げたいと思ひます。皆さんのりりしい姿を見させていただき、私も少しばかり身の引き締まる思ひであります。

きょうは多分皆さん、いろいろな準備をしてこられたと思ひます。私どものほうも、先ほど紹介をいただきましたけれども、それ以

外に、皆さんの左側、そして右側にもたくさんの方が座っていられます。これはいろいろ担当が分かれておられて、その部長の皆さんであります。直接その仕事に携わっていただいておりますので、状況によっては部長からのお話もあろうかと思っておりますので、あわせてどうぞよろしくお願ひしたいと思っております。

中学生の議員の皆さんからいただいた質問は、私も全部読ませていただいたところであります。皆さんの質問は、中学校生活等々を通して疑問に思ったこと、そして、こうすればもっとよくなるのではないか、そういうことをいっぱい考えていただいたと思っております。そういう意味では準備も大変だったと思っております。改めて子ども議員の皆さんに敬意と感謝を申し上げさせていただきます。

先ほど来からお話がありますように、どうぞ皆さん自信を持って、それぞれの思いを体いっぱい、気持ちいっぱいにしてお話ししていただければと思っております。私どもは、皆さんがお話しされたご意見、ご要望についてしっかりと受けとめさせていただき、生かせるものは積極的に生かしていきたいと思っております。よろしくお願ひしたいと思っております。

さて、傍聴においでいただきました保護者の皆様には、平素から厚木市政に多大なるご尽力をいただいておりますこと、厚くお礼を申し上げたいと思っております。また、本日は、何かとご多用のところ、この子ども議会にお越しいただき、厚くお礼を申し上げさせていただきます。

現在、厚木市では、これからの厚木市はこういう方向で行きましょうというのを総合計画と申しており、あつぎ元気プランという通称名で呼んでおります。このあつぎ元気プランに掲げる厚木市の将来像は「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市 あつぎ」、これを目指していきましょうという姿勢で取り組んでいるところであります。それには一番大切な市民の皆様には軸足を置かせていただき、市民の皆様とともに社会をつくり上げていく。4文字の言葉で言いますと市民協働。市民協働の協の字は協力するの協です。協働

の働の字はにんべんに動くという字です。力を合わせて人が動いて、汗をかいて仕事をしましょうという意味が含まれているところでもあります。

特に皆さんの関係では、教育分野につきましては、子育て・教育環境日本一を目指していきましょうという目標を持って、教育環境等々の充実に努めているところであります。皆さんが安全で快適な環境で学習に取り組めるよう進めてまいりました市内小・中学校への冷暖房設備ですけれども、皆さんのところはもうつきましたか。今年度中、平成28年度中には全校への設置が完了するところにまで来ました。厚木市はこれからも「みんなでつくろう元気なあつぎ」をスローガンに、市民の皆様が安心安全を実感できる、住みやすい、そして誇りを持てる厚木市をさらに発展させていきたいと思っております。今後ともご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

結びになりますが、本日の子ども議会の開催に当たりまして、多大なご尽力をいただきました、先ほどご挨拶されました越智厚木市議会議長を初め市議会議員の皆様、そして傍聴においでいただきました保護者の皆様、また、学校関係者の皆様、そして中学生の議員の皆様には感謝を申し上げますとともに、本日の子ども議会が皆さんのご協力で意義の深いものになりますようご祈念を申し上げます。開会に当たりましての私からの挨拶とさせていただきます。それでは、どうぞよろしくお願ひします。

ありがとうございました。

○松田則康実行委員長 ありがとうございます。

それではこの後、綿貫創太議長の議事進行により、あつぎ子ども議会を進めてまいります。

議長、よろしくお願ひいたします。

○綿貫創太議長 ただいまの出席議員は24人で定足数に達しております。

ただいまから第2回あつぎ子ども議会中学

生議会を開会いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおりです。

日程に入ります。

○綿貫創太議長 日程1「議席の指定」を行います。

議席は、厚木市議会会議規則に準じ、議長において指定いたします。

議席番号1番から24番まで、ただいまご着席の議席を指定いたします。

○綿貫創太議長 日程2「会議録署名議員の指名」を行います。

厚木市議会会議規則に準じ、第2回あつぎ子ども議会中学生議会の会議録署名議員を議長から指名いたします。

厚木中学校・庄司夕姫議員、厚木中学校・高津良介議員、森の里中学校・古根村茅咲議員の3人をお願いいたします。

○綿貫創太議長 日程3「会期の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。第2回あつぎ子ども議会中学生議会の会期は、本日1日とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

ご異議なしと認めます。よって会期は本日1日と決定いたしました。

○綿貫創太議長 日程4「一般質問」を行います。

通告に従い、順次質問を許します。

まず、第1グループの質問から行います。

厚木中学校・庄司夕姫議員。

小鮎中学校・古谷未緒議員。

○1番 庄司夕姫議員 (登壇) 厚木中学校の庄司夕姫です。よろしく申し上げます。

今後30年以内に起こると予想される首都直下型地震や南海トラフ地震などの大災害が発生したときに、私たちが住む厚木市では、どのような対策や対処が可能なのでしょうか。

避難場所として、ぼうさいの丘公園は比較

的に誰でも知っていると思いますが、屋内施設は限られています。実際に発生した場合、どのように避難誘導されるのでしょうか。市の放送はよく耳にしますが、市役所より徒歩10分の私の家からでは、何を言っているのかわからない状態です。スピーカーの増設等の対策もあるのでしょうか。

熊本地震でも、屋内退避ができる施設の不足、食料や飲料水の供給や確保が大変問題になっていったと思います。地域や状況が違いますが、現在の厚木市ではどのような準備がされていますか。また、その準備された食料や飲料水は何日分ぐらいを想定していますか。もしも冬の寒い時期に起こったら、防寒対策はどのようになっていますか。

質問します。厚木市の防災対策はどのようになっていますか。教えてください。

○2番 古谷未緒議員 (登壇) 小鮎中学校の古谷未緒です。よろしく申し上げます。

今から5年前の2011年3月11日、東北地方を中心に未曾有の被害を引き起こした東日本大震災が発生しました。そして、ことしに入ってから熊本地震が発生し、4カ月たった今でも余震が続いています。

東日本大震災が発生したとき、私たちは小学2年生でした。学校にいたため、大きな被害に遭うことはありませんでした。しかし、近所に住んでいるご老人の方は、避難におくれ、屋内でけがをしまいました。東日本大震災以降、防災に対する意識が変わり、私たちの学校では、従来の避難訓練に加え、小・中学校合同で引き渡し訓練をしたり、1次避難行動訓練をしています。あれから5年。私たちは中学生になり、人に助けられる立場から人を助ける立場になりました。

質問します。今後、中学生を巻き込んだ防災訓練を実施するか、教えてください。

○綿貫創太議長 市長。

○小林常良市長 (登壇) 厚木中学校・庄司夕姫議員から、厚木市の防災対策はどのようになっていますかとのご質問ですが、厚木市では、防災対策のさまざまなことを地域防災計画に定めています。避難所及び避難誘導に

つきましては、各小・中学校の体育館など48カ所を避難所に指定し、市内に218ある自主防災隊に避難所への誘導をお願いしています。

防災行政無線につきましては、聞こえやすさと共鳴しない場所を考えつつ設置していますが、本年度、全方向スピーカーを試験的に設置し、聞こえ方の実験を予定しております。

また、備蓄品につきましては、都心南部直下地震の避難想定人数が2万6080人で、この方たちに1日3食を提供した場合でも4日分の食料を備蓄していますので、ご安心いただきたいと思いますが、各ご家庭でも、水や食料を中心に、7日分の備蓄をお願いしています。

さらに、厚木市では、冬季に災害が発生した場合に備え、毛布やストーブを備蓄するなど、防寒対策も行っています。

庄司夕姫議員も、災害時にどこに集まるか、何を持ち出すか、災害情報の収集方法、備蓄品につきまして、もう1度ご家族で話し合っていただくようお願いしています。

次に、小鮎中学校・古谷未緒議員から、中学生を巻き込んだ防災訓練を実施するかのご質問でございますが、厚木市では昨年、世界的な基準のもとで、防災対策など8つの安心安全なまちづくりへの取り組みが、WHO、世界保健機関から評価され、セーフコミュニティの再認証を受けることができました。この防災対策の取り組みの1つとして地域・学校との防災訓練を進めており、自治会長会議や小・中学校長会議において、児童・生徒の防災訓練への参加を呼びかけました。

中学生の皆さんには、地震災害等のときに、まずはご自分の身の安全を確保していただき、後にご家族やご近所の方々へできる範囲でご協力をしていただきたいと思います。古谷未緒議員も、学校や地域で行われる防災訓練にお友達を誘っていただき、積極的なご参加をお願いしたいと思います。

○綿貫創太議長 以上で第1グループの質問を終わります。

次に、第2グループの質問に移ります。

厚木中学校・高津良介議員。

荻野中学校・二瓶凜議員。

小鮎中学校・一條渉議員。

○3番 高津良介議員（登壇）厚木中学校の高津良介です。よろしく申し上げます。

近年、厚木市内では、駅前を中心にゲームセンターなどの遊興施設が多くなっています。私たち中高生は、塾などに通うために、夜遅くに繁華街の中を通ることが多く、犯罪に巻き込まれるのではないかと心配です。

質問します。パトロールは厚木市で行われているようですが、抜本的対策として、遊興場の増加防止や数を減らしたりすることはできないでしょうか。教えてください。

○4番 二瓶 凜議員（登壇）荻野中学校の二瓶凜です。よろしく申し上げます。

僕は陸上部に所属しています。平日の大抵は荻野運動公園で練習をし、午後6時15分ごろに帰ります。夏のころはまだ少し明るいのですが、秋や冬になると川沿いに電灯がなく、電灯があったとしても点滅していたり消えているので、帰り道が暗く、安心して帰ることができません。安心して帰れるよう、不審者から身を守るためにも、電灯の修理・設置をしてください。

質問します。川沿いに電灯をつけたり、電灯の修理をすることはできないのですか。教えてください。

○5番 一條 渉議員（登壇）小鮎中学校の一條渉です。よろしく申し上げます。

昨年、僕は、交通事故に遭いそうになりました。自転車で車道を走っていたところ、並行して走っていた車と接触しそうになり、とても怖い思いをしました。ほかの市では、自転車専用通行帯というものを取り入れているそうです。この通行帯は、自転車の安全性と快適性の向上、歩行者の安全性の向上を目的として整備されたものだと思いました。

残念ながら、去年は、市内において、小・中学生が、登下校、または放課後に交通事故の被害に遭うケースが多く発生してしまいました。自転車は、私たちにとって最も身近な

乗り物ですが、事故が多いのも事実です。

質問します。自転車専用レーンを市内のどれくらいの範囲で整備していく予定なのか、教えてください。

○綿貫創太議長 市長。

○小林常良市長（登壇）厚木中学校・高津良介議員から、遊興場の増加防止や数を減らしたりすることはできないでしょうかのご質問ですが、ゲームセンターやパチンコ店などの遊興場につきましては、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律によりまして、神奈川県公安委員会の営業許可等を受けることが必要となっており、営業場所や営業時間等が規制されています。このようなことから、所定の手続きを行い、神奈川県公安委員会の営業許可等を受けたお店に対し、厚木市が規制をすることはできないこととなっています。

しかしながら、厚木市では、本厚木駅周辺の安心安全に向けた取り組みといたしまして、あつぎセーフティステーション番屋を設置するとともに、この番屋を拠点に、地域の皆様や警察等との市民協働によるパトロールを実施しています。

さらに、平成26年度に施行しました厚木市客引き行為等防止条例に基づき、悪質な客引き行為等に対して、これまでに89件の指導を実施したことにより、条例施行前には午後10時の調査で約30人いた悪質な客引きが、今では大幅に減少しています。また、本厚木駅周辺に防犯カメラを27カ所、64台設置するなど、路上などでの犯罪を未然に防ぐための環境づくりに努めています。

これらの取り組みの結果、犯罪件数も減少していますが、高津良介議員を初め中学生の皆さんも、夜遅くに塾等から帰宅する際には、人通りの多い明るい道をお友達やご家族と一緒に歩いていただくよう、お願いをいたします。

続きまして、荻野中学校・二瓶凜議員から、川沿いへ電灯をつけたり、電灯の修理をすることはできないのですかのご質問ですが、防犯灯は、夜間に安心して安全に歩ける

ように、地域の自治会からのご要望に基づき、主に市民の皆様が利用する生活道路の電柱等に設置していますので、夜間は防犯灯を設置している明るい道を歩くようにお願いします。

なお、厚木市では、今年度中に、約1万8000灯ある防犯灯について、10年程度は電球の交換が不要で、省エネルギーや照度アップにつながるLED灯に交換します。

しかしながら、防犯灯が壊れたり故障することもありますので、そのような防犯灯を見かけましたら、恐縮ですが、市役所にご連絡いただければと思います。速やかに交換し、市民の皆様の安心安全を図っていきますので、二瓶凜議員のご協力をお願いいたします。

次に、小鮎中学校・一條渉議員から、自転車専用レーンを市内のどれくらいの範囲で整備していく予定なのかのご質問ですが、厚木市では、特に自転車が集中する本厚木駅周辺の道路について、自転車関連の事故防止を目的に、平成22年度から自転車専用レーンの整備を実施してきました。また、現状の道路幅での自転車と自動車の分離が難しい箇所では、自転車の進行方向と走行位置の表示を設置しております。今後につきましても、特に自転車走行の多い道路について、安全に安心して走行できるように、環境整備を進めていきます。

一條渉議員も、自転車の安全利用について、お友達や地域の皆様にPRしていただくよう、ご協力をお願いいたします。

○綿貫創太議長 以上で第2グループの質問を終わります。

ただいまの第1及び第2グループの質問に対する答弁について、子ども議員から再質問はございますか。高津議員。

○3番 高津良介議員 ご答弁ありがとうございました。再質問します。

今行われている厚木市のパトロールの現状はどのようになっているのでしょうか。教えてください。

○古澤裕二危機管理部長 本厚木駅周辺のパ

トロールでお答えをさせていただきます。本厚木駅周辺の防犯活動を行っていただいております本厚木駅周辺環境浄化対策協議会、また、厚木南地区の自治会長等で組織していただいております安心安全なまち会議、また、本厚木駅北側の地区で組織しております西仲自治会、これらの各団体におきまして、月1回程度のいわゆる市民協働によりますパトロールを実施していただいております。

また、我々厚木市職員におきましても、市長を初めこちらに並んでおります部長級も含めてですが、ボランティアによります笑顔・ふれあいパトロールということで、7月と12月、合計10回のパトロールを行っております。

さらに、先ほども市長の答弁でございました厚木市客引き行為等防止条例というのがございます。この条例を踏まえまして、元警察官10人ほどに客引き行為等指導員ということでお願いしてございます。主に平日の午後5時から午後11時までの間、パトロールや駐留警戒などを行っていただきまして、本厚木駅周辺における市民の皆様への安心安全の確保を図っているところでございます。

○綿貫創太議長 ほかになければ以上で終わります。

ここで10分間休憩いたします。

午後1時53分 休憩

午後2時02分 開議

○佐々木遥花議長 再開いたします。

第3グループの質問に移ります。

厚木中学校・藤川紗亜花議員。

睦合中学校・早川くるみ議員。

○6番 藤川紗亜花議員 (登壇) 厚木中学校の藤川紗亜花です。よろしく申し上げます。

近年、国際色が豊かになり、友好都市協定の締結によって両市への観光客の誘客を図る都市もあるようです。中には、学生海外派遣プログラムで両市の交流を深めた都市もあります。

質問します。厚木市には、国内外に友好都

市が数々ありますが、それらの都市とどのような活動を行い、それによってどのような利点があるのか、教えてください。

○7番 早川くるみ議員 (登壇) 睦合中学校の早川くるみです。よろしく申し上げます。

社会科の授業で習ったことなのですが、日本は少子高齢化が進んでいます。そこで、厚木市には新生児に対するサービスはありますか。あるのならば、どのようなものですか。

質問します。新生児に対するサービスはどのようなものですか。教えてください。

○佐々木遥花議長 市長。

○小林常良市長 (登壇) 厚木中学校・藤川紗亜花議員から、厚木市が友好都市と行っている活動内容とその利点はとのご質問ですが、現在、厚木市は、国内では秋田県の横手市、北海道の網走市、そして国外ではアメリカのニューブリテン市、中国の揚州市、韓国の軍浦市と友好都市の締結を行い、さまざまな交流を行っています。特に若い世代の交流としては、厚木市と横手市、網走市の小学生がそれぞれの市を訪問しての野外活動や、厚木市と軍浦市の高校生がホームステイを体験し合うなど、友好を深めるための活動を行っています。

友好都市との交流における利点といたしましては、各訪問団の派遣及び受け入れに加え、イベントなどにおける各都市の名産品の販売や写真などの展示により、厚木市にはない文化や生活習慣を市民の皆様を紹介することで、各都市に対する理解をより一層深めていただいています。

これらの活動を続けることによって、各都市のよいところを厚木市に取り入れることができ、特に災害時などにおいても、お互いに助け合うことができる友好関係を形成できると考えています。これからも、教育、文化、スポーツなどの分野において、お互いの友好交流を促進するとともに、市民同士の友情を一層深められるような取り組みを行っていきたいと思います。

藤川紗亜花議員も、ぜひ厚木市の友好都市

を訪問していただき、その魅力について実際に体感して、未来に向かってその友好のきずなを深めていただけることを願っています。

次に、睦合中学校・早川くるみ議員から、新生児に対するサービスはどのようなものですかとのご質問ですが、厚木市では、子育て環境日本一を目指して、病院にかかったときの医療費を中学生まで無料にし、また、2人目以降の赤ちゃんへは、紙おむつなどを無料配付するなど、県内でもトップクラスのサービスを提供しています。また、新生児がいる家庭に助産師等が訪問し、健康状態の確認や育児の相談を行うなど、初めて出産した方にもご安心いただいています。

そのほか、アミューあつぎにある県内最大級の広さの子育て支援センターもみじの手では、子育ての相談や情報提供を行う子育てコンシェルジュの配置や、赤ちゃんがいる家庭で家事や育児のお手伝いをするほっとタイムサポーターの派遣など、さまざまなニーズに対し、きめ細かに対応しています。

また、外出したときも気軽に授乳やおむつがえができるよう、お店などにご協力をいただき、赤ちゃんの駅ベビリアを設置し、スマートフォンなどで場所を探すことができるアプリを導入する工夫もしています。

さらに、予防接種の日が近づくとメールでお知らせするあゆコロちゃんのちっくんナビや、24時間無料で電話相談ができる健康相談ダイヤル24を実施するなど、赤ちゃんが元気で健やかに育つよう、全国でもトップレベルのサービスを、年齢に応じて幅広く展開しています。

私は子育て・教育環境日本一を大きな目標の1つとしていますので、早川くるみ議員も関心を持たれた少子化への対応に積極的に取り組み、厚木市の子供たちの未来がさらに明るく、希望に満ちたものになるように、子育て支援を一層充実してまいります。

○佐々木遥花議長 以上で第3グループの質問を終わります。

次に、第4グループの質問に移ります。

森の里中学校・古根村茅咲議員。

荻野中学校・長谷川菜実議員。

小鮎中学校・萱島茉広議員。

○8番 古根村茅咲議員（登壇）森の里中学校の古根村茅咲です。よろしく申し上げます。

私が通う森の里中学校では、学期始めと終わりの給食がないときでもお弁当を持参し、通常どおりの6校時日課です。どうしてお弁当を持参してまで通常日課なのか疑問に思っていたところ、部活で仲よくなった林中学校の友達に、林中学校ではそのようなときは4校時日課だということを知りました。

質問します。ほかの学校ではどうなのかわかりませんが、学校により、そのような違いがあるのはなぜなのでしょう。教えてください。

○9番 長谷川菜実議員（登壇）荻野中学校の長谷川菜実です。よろしく申し上げます。

私の家はバス通学の区域で、学校までバスで通学しています。義務教育なのに、住んでいる場所によって通学にかかるお金が違っていると、親の負担が大きいと思います。就学援助制度の通学費は、中学生は6キロメートル以上の通学者しか受けられません。

質問します。通学のバス代について教えてください。

○10番 萱島茉広議員（登壇）小鮎中学校の萱島茉広です。よろしく申し上げます。

厚木市役所には、子育て・教育環境日本一のスローガンが掲げられています。既に市内の中学校にはエアコンが完備され、とても恵まれた環境の中で生活を送っています。

生活の中で大半を占めるものは学校の授業です。教室での授業が中心ですが、時々パソコンを使ったり、大型テレビを使用しながら授業を受けています。特にパソコン教室での授業はとてもわかりやすく、集中して授業を受けることができます。

最近、タブレット端末を利用している学校があることを知りました。タブレット端末を使うと、文字以外の音声や動画などの情報を簡単に得ることができます。さらに、勉強に

対する意欲も高まると思います。しかし、学習内容の理解を深めたり、覚えたりするために、紙での学習はとても大切だと思います。

質問します。従来の学習に加え、タブレット端末を導入する可能性はありますか。教えてください。

○佐々木遥花議長 教育長。

○曾田高治教育長 (登壇) 森の里中学校・古根村茅咲議員から、学校により、日課に違いがあるのはなぜでしょうかとのご質問ですが、小・中学校の標準の授業時数は法律で定められており、これをもとに時間割や行事予定を決めています。学期の始めや終わりの午後に授業を行うかどうかや、定期テストの日数、夏休み期間の設定などは学校ごとに違いますが、年間の授業時数は同じです。厚木市の各小・中学校では、学校や地域の実態を踏まえて、皆さんの力を伸ばすために、さまざまな日課の工夫を行っています。

古根村茅咲議員も、学習や行事、部活動などに積極的に取り組むことで、充実した学校生活を送っていただきたいと思います。

次に、荻野中学校・長谷川菜実議員から、通学のバス代についてのご質問ですが、通学区域は、通学路の安全性や児童・生徒の体力を考慮し、自宅から学校までの距離を、小学校でおおむね4キロメートル以内、中学校でおおむね6キロメートル以内を原則として決定しております。通学につきましては徒歩を原則としていますが、一部の小・中学校では、通学環境を考慮し、校長がバス通学を許可しています。また、通学のバス代につきましては、通学区域で定めている通学距離を超えた場合に、就学援助制度においてその一部を支給しております。

徒歩による通学は、体力の向上だけでなく、自然の移り変わりに気づき、地域の人との触れ合いもできるなど、皆さんの成長にとって有意義なことと考えています。今後も教育環境の充実に取り組んでまいりますので、長谷川菜実議員も、充実した楽しい中学校生活となるよう、勉強や部活動に積極的に取り組んでほしいと思います。

次に、小鮎中学校・萱島菜広議員から、従来の学習に加え、タブレット端末を導入する可能性はとのご質問ですが、タブレット端末は、多様な学習をするための1つのツールとして、有効に活用できるものと考えています。タブレット端末を使うことにより、グループ学習のまとめや発表をわかりやすく効率的に行うことや、体育の時間にマットや跳び箱運動のフォームを撮影し、その場で動きを確認することなどが可能となります。厚木市では、現在、授業でタブレット端末を活用することについて研究を行うなど、より効果的な方法で多様な学習ができるよう、環境整備を進めています。

ノートを使って自分の考えをまとめたり、繰り返し書いてしっかり覚えたりすることも大切な学習の方法ですので、萱島菜広議員には、さまざまな学習方法を取り入れながら、多くのことを吸収し、達成感や充実感を味わうことができる有意義な中学校生活を送ってほしいと願っています。

○佐々木遥花議長 以上で第4グループの質問を終わります。

ただいまの第3及び第4グループの質問に対する答弁について、子ども議員から再質問はございますか。藤川議員。

○6番 藤川紗亜花議員 ご答弁ありがとうございました。それでは、再質問させていただきます。

友好都市とは今後どのような活動を計画していますか。また、一般市民や生徒・学生も参加できる活動は計画されていますか。教えてください。

○相原 保オリンピック・パラリンピック担当部長 ただいまの活動計画についてのご質問ですけれども、市長がお答えいたしましたように、今後も青少年を含めた市民を中心としたマラソン大会などのスポーツとか、お互いの伝統的なお祭りに参加し合うなどの文化交流を進めて、友好を深めてまいりたいと考えています。

また、来年度の具体的な事業の計画につきましては、現在進めているところでございま

すので、一つ一つの事業についてご説明できないのですけれども、現在の事業を基本といたしまして、市民の皆様のご意見をいただきながら、市民の方が参加しやすいような事業を計画してまいりたいと考えています。

このことに加えて、少し私どもが友好交流で大切にしている部分のお話をさせていただきたいと思います。

参考にお話ししますと、日本で初めて姉妹都市の締結が行われたのは、昭和30年12月17日、日本の長崎県長崎市とアメリカ合衆国のセントポール市、この調印にさかのぼると言われています。そして、もう60年たっているのですけれども、両市は今でも文化交流とか青少年の交流を活発に行っているということでございます。姉妹都市並びに友好都市の理想的な関係を築いていると考えております。

厚木市におきましても、ニューブリテン市と友好都市の締結をいたしましてから30年余りたっているのですけれども、皆さんの世代、またその次の世代へと交流が長く引き継がれていくように願っております、今後も受け入れや派遣事業について計画をしてまいりたいと思います。子ども議員の皆様におかれましても、これからも友好都市への理解を深めていただいて、交流事業にご協力をいただければと切に願っております。

どうもありがとうございました。

○佐々木遥花議長 ほかになければ以上で終わります。

ここで10分間休憩いたします。

午後2時24分 休憩

午後2時33分 開議

○赤川すみれ議長 再開いたします。

第5グループの質問に移ります。

南毛利中学校・西田早都子議員。

睦合東中学校・池田徹太議員。

相川中学校・関戸和香奈議員。

○11番 西田早都子議員（登壇）南毛利中学校の西田早都子です。よろしくお願ひします。

ほかの市町村では、その場所の特産品などをPRするために、いろいろな取り組みをしているところがあります。厚木市にもおいしい豚があるので、もっと広めたいと思います。

質問します。厚木産の豚をアピールするために、どのような取り組みをしていますか。教えてください。

○12番 池田徹太議員（登壇）睦合東中学校の池田徹太です。よろしくお願ひします。

昨年度、睦合東中学校ではISSを認証することができました。なので、この活動を弱めることなく、さらに発展させていきたいと思ひます。

質問します。現在、小学校とのかかわりを持ち、ISSの活動を広げていきたいと思ひますが、何かアドバイスがありますか。教えてください。

○13番 関戸和香奈議員（登壇）相川中学校の関戸和香奈です。よろしくお願ひします。

私は、図書館について質問します。理由は、厚木市の図書館はたくさんの本があり、建物自体も大きいのですが、もっと設備を工夫したほうがいいと思ひます。例えばCDやDVDが聞けたり、見られたりすると気分転換になり、さらに本を読んでもくれると思ひます。また、文房具を売っていたり、飲食ができる場所をつくると、勉強している人も気軽に楽しく本を読んだりできると思ひます。

質問します。図書館の設備を工夫する考えはありますか。教えてください。

○赤川すみれ議長 市長。

○小林常良市長（登壇）南毛利中学校・西田早都子議員から、厚木産の豚をアピールする取り組みはとのご質問ですが、現在、厚木市内には3軒の養豚農家があり、年間約7700頭の豚が生産されています。厚木産のおいしい豚肉をアピールするため、毎年11月に開催される農業まつり畜産祭において、豚肉の試食をしていただくとともに、平成24年度からは、豚肉消費拡大のPRと厚木市マスコット

キャラクターあゆコロちゃんの誕生日をお祝いするため、養豚農家から厚木市に豚肉が贈呈されています。贈呈された豚肉は、市立保育所等の給食の食材として使用させていただき、園児の皆さんにおいしく味わってもらっています。

さらに、厚木市の多彩な食をブランド化し、PRするため、平成21年度からあつぎOECフードという事業を推進しています。その中で厚木のとん漬けと厚木シロコロ・ホルモンを認定し、ホームページやポスター、パンフレット等を用いて、厚木産の豚のよさを発信しています。

西田早都子議員には、これからも厚木市のよいところを見つけていただき、市内外へのアピールにご協力をお願いします。

私からは以上でございます。教育に関することは教育長からご答弁申し上げます。

○赤川すみれ議長 教育長。

○曾田高治教育長（登壇）睦合東中学校・池田徹太議員から、ISSの活動を広げたいと考えていますが、何かアドバイスがありますかとのご質問ですが、ISS、すなわちインターナショナルセーフスクールは、学校におけるより安全な環境づくりを目指す取り組みで、けがや事故の防止、いじめ・暴力の予防を推進し、安全で健やかな学校をつくるための活動です。昨年、睦合東中学校が、全国で3番目の中学校としてISSの認証を取得したことは、とても素晴らしいことです。

ISSの活動を広げていくためには大切なことがあると思います。まず、中学校区で児童会、生徒会の連携を強めていくことです。睦合東中学校、清水小学校、妻田小学校の児童会と生徒会が合同で安心安全の取り組みについて情報交換や活動を行っていますが、これからも同じ地域の一員として活動を続けてほしいと思います。

次に、活動の成果を他に広めていくことです。安心安全な学校づくりのリーダーとして、これまでの取り組みを市内の小・中学校に伝えてほしいと思います。そして、睦合東

中学校の生徒会が中心となって、全国のISS認証校との交流を深め、お互いの取り組みを学び合い、さらにより活動にしてほしいと思います。

池田徹太議員も、インターナショナルセーフスクール認証中学校の生徒として、自分たちの取り組みに自信を持って活動を行ってください。

次に、相川中学校・関戸和香奈議員から、図書館の設備を工夫する考えはとのご質問ですが、中央図書館は、昭和60年の開館以来、長きにわたり市民の皆様にお世話になり、年間25万人を超える方々に図書やCDをご利用いただいております。また、調査・相談サービスでは、学習や研究、暮らしや仕事に必要な図書や情報を探すお手伝いも行っています。さらに、中学生や高校生向けに、お薦めの本を集めて紹介するコーナーを2階に設けています。

気軽に楽しく本が読めて、勉強や読書の合間に気分転換ができるよう、CDを聞くことができる場所や飲食ができる場所を図書館につくることにつきましては、今年度策定を進めている新しい図書館の構想を検討する中で、参考とさせていただきます。

若い世代の方が読書や図書館に興味を持っていただいていることを大変うれしく思います。今後も、さまざまな世代のご要望を伺いながら、学びや交流の場としてより一層市民の皆様にお世話になり、役立つ図書館を目指していきたいと考えております。

関戸和香奈議員も、読書への意欲をさらに高められるよう、図書館を活用していただきたいと思います。

○赤川すみれ議長 以上で第5グループの質問を終わります。

次に、第6グループの質問に移ります。

睦合東中学校・升方啓太議員。

小鮎中学校・井上和将議員。

○14番 升方啓太議員（登壇）睦合東中学校の升方啓太です。よろしく申し上げます。

最近、公園や道の脇などにごみが捨てられているのを多く見ます。地域の方々がボラン

ティアで拾っていることを知っているにもかかわらず、何食わぬ顔で捨てていきます。

質問します。厚木市ではポイ捨てをなくすために、どのような活動を行っていますか。教えてください。

○15番 井上和将議員（登壇）小鮎中学校の井上和将です。よろしくをお願いします。

私は、よく自転車に乗って出かけます。そこであることに気がつきました。それは、子供たちが余り外で遊んでいないということです。昔と比べ、外で遊ぶ元気な子供が少なくなっただけだと言われています。子供たちがゲームやスマホに依存しているからでしょうか。

私たちには、ボールを使って自由に遊べる場所や、遊具のある公園が少ないと思います。私はボールを使って外で遊ぶことが大好きです。しかし、遊ぶ場所がなくては遊べません。厚木市には荻野運動公園のような広い施設がありますが、私たちが欲しているのは、身近で気軽にボールを使って遊べるような場所です。

質問します。子供たちが安全・安心に遊べる公園づくりはどのようなものですか。教えてください。

○赤川すみれ議長 市長。

○小林常良市長（登壇）睦合東中学校・升方啓太議員から、厚木市ではポイ捨てをなくすために、どのような活動を行っているのかとのご質問ですが、何より一番大切なことは、子供から大人まで、ごみは決められた場所以外には捨ててはいけないことを自覚していただくことであると思っています。

そこで、厚木市では、本厚木駅前と愛甲石田駅前、地域から選ばれた環境保全指導員の方々と市民ボランティアの方々と一緒にポイ捨て禁止の呼びかけのほか、民間企業や各地区自治会の方々とご協力をいただき、河川や駅周辺の美化清掃も行っています。また、地域の皆様と協力して、ごみがよく捨てられる場所にポイ捨て禁止の看板を設置するなど、ポイ捨てしにくい環境づくりをしています。

これからも、ごみがなく清潔で美しい環

境を守るために、このような環境美化の取り組みを進めていきますので、升方啓太議員におかれましても、積極的にご協力いただきますようお願いいたします。

次に、小鮎中学校・井上和将議員から、子供たちが安全・安心に遊べる公園づくりはとのご質問でございますが、厚木市が管理している公園は233カ所あり、小鮎地区には里見台まる山公園を初め20カ所あります。厚木市では、子供から高齢者までが安心安全に利用できる憩いの場となるよう、公園の整備や維持管理に努めています。

遊具のある公園や気軽にボールを使って遊べる公園の整備には、公園を利用される皆様の安全が確保できるだけの広さの土地が必要となります。厚木市では、公園などの緑地の保全や緑化の推進に関して、将来像、目標、施策などを定めた緑の基本計画をもとに、市民の皆様の身近な公園となるよう、各地区における配置や規模を定め、整備を行っています。今後も、地域の皆様にご協力をいただきながら、子供たちが安心安全に遊べる公園づくりに努めてまいります。

また、本年3月12日、荻野運動公園北側に、遊んで学んで元気になれる自然体験活動の新たな拠点として、あつぎこどもの森公園を開園し、里山の自然を体験していただくとともに、日本一の森のすべり台や森の空中回廊など楽しい施設もありますので、井上和将議員を初め子ども議員の皆様も、お友達を誘ってぜひご来園いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○赤川すみれ議長 以上で第6グループの質問を終わります。

ただいまの第5及び第6グループの質問に対する答弁について、子ども議員から再質問はございますか。――別になければ、以上で終わります。

ここで10分間休憩いたします。

午後2時51分 休憩

午後3時00分 開議

○遠藤耕聖議長 再開いたします。

第7グループの質問に移ります。

厚木中学校・藤生優毅議員。

南毛利中学校・開沼琴音議員。

南毛利中学校・馬場友聖議員。

○16番 藤生優毅議員（登壇）厚木中学校の藤生優毅です。よろしくお願ひします。

海老名市、平塚市など周辺地域の商業の発展が著しいですが、厚木市の商業の今後についてどのようにお考えでしょうか。

厚木市は、人口が多いものの、中心部の土地が限られており、新たな事業の展開も難しいため、買い物客の流出が予想され、厚木市の商業の衰退が懸念されます。

質問します。厚木市の商業の今後について、どのようにお考えですか。教えてください。

○17番 開沼琴音議員（登壇）南毛利中学校の開沼琴音です。よろしくお願ひします。

依知のほうに圏央道のインターチェンジや厚木パーキングエリアなどをつくって発展させていますが、本厚木駅のほうが人口が多く、厚木市の顔なので、本厚木駅周辺の発展を進めたほうがいいと思います。また、依知のほうには圏央道があるので、日産などの企業を呼ぶといいと思います。このように思った理由は、最近、駅周辺の活気が海老名市に負けていると思ったからです。

質問します。本厚木駅周辺の発展を進めてはどうですか。教えてください。

○18番 馬場友聖議員（登壇）南毛利中学校の馬場友聖です。よろしくお願ひします。

厚木市では、私たち自身や私たちの親が納めている税金を子育てや福祉に多く充てていると聞いたことがあります。その税金のおかげで、医療費などの負担が少なくなっています。ありがとうございます。

しかし、現在の厚木市では、本厚木駅周辺の娯楽施設が少なく、そして古くなっていて、利用する人が発展著しい海老名市に流れていると思います。私たち中学生としては、本厚木駅周辺をもっと発展させてほしいと思います。

質問します。厚木市の税金や予算などを、

福祉・子育てのほかにもどのように利用するのか。また、どのような厚木市を目標にしているのか。教えてください。

○遠藤耕聖議長 市長。

○小林常良市長（登壇）ただいま厚木中学校・藤生優毅議員から、厚木市の商業の今後について、どのようにお考えかとのご質問ですが、厚木市の商業の発展については、皆さんの生活に関係する大きな要素であると考えています。厚木市では、第9次厚木市総合計画、あつぎ元気プランにおいて、にぎわいあふれる、快適で利便性の高いまちづくりを目指しています。この目標を実現するため、今年度中に市民の皆様のご意見をお聞きしながら、（仮称）商業まちづくり計画を策定し、厚木市の商業振興の方向性や考え方を明確にするとともに、中心市街地はもとより、周辺部の商業の活性化を図っていきますので、藤生優毅議員を初め子ども議員の皆様には、中心市街地や地元のお店でお買い物をさせていただきよう、ご協力をお願いします。

次に、南毛利中学校・開沼琴音議員から、本厚木駅周辺の発展を進めてはとのご質問ですが、中心市街地のにぎわいをつくり出すため、平成26年4月に官民複合施設アミューあつぎをオープンいたしました。現在、本厚木駅周辺のさらなるにぎわいをつくり出すため、本厚木駅南口の整備や、バスセンター周辺の整備計画を進めているところです。今後におきましても、10年先、20年先の厚木市の将来を見据えた中で、本厚木駅周辺の子育て世代や高齢者にとっての憩いの場の充実や、安心安全なまちづくりなど、商業施設だけでなく、さまざまな機能を取り込んだ、歩いて楽しいまちの実現に向けた計画を積極的に推進していくことが、とても重要なことだと考えています。

また、依知方面への企業誘致についてですが、皆さんもご存じのとおり、日産については、もう既に、森の里と岡津古久に大きな研究開発拠点を誘致しました。今後も、日産に限らず、利便性の高い高速道路交通網を生かして多くの企業に来ていただくことは、まち

の発展や地域経済の活性化にとっても大切なことです。そのために厚木市では、将来に向け多くの企業に来ていただけるよう、関口・山際地区で新たなまちづくりを検討しています。

企業の進出意欲がさらに高まるよう、魅力あるまちづくりを進めていきますので、開沼琴音議員も関心を持って見守っててください

次に、南毛利中学校・馬場友聖議員から、厚木市の税金や予算などを、福祉・子育てのほかにもどのように使っていく方針ですか。また、どんな厚木市にしていきたいですかとのご質問ですが、厚木市は、少子高齢化が進んでいくこれからの時代を考え、子育て・教育環境日本一や、高齢者が安心して健康で暮らせる社会を目指した取り組みを積極的に進めています。また、本厚木駅周辺などの中心市街地の魅力をさらに向上させることももちろん重要な厚木市の仕事であり、駅周辺施設の整備やイベントの開催など、にぎわいあふれるまちづくりを市民の皆様からお預かりした税金で効果的に進めています。

しかしながら、これ以外にも、厚木市が行わなければならない大切な取り組みはたくさんあります。皆さんが安心して暮らすためには防災対策も大事ですし、便利に暮らすためには道路の整備も必要です。私は、厚木市を、市民の皆様が元気で幸せに生き生きと暮らせるまちにしていきたいと考えています。そのためには、さまざまな仕事を進める中で、税金の使い道やバランスをしっかりと考えていくことが重要です。これを機に、馬場友聖議員を初め子ども議員の皆様には、市の仕事に大いに関心を持っていただくようお願いいたします。

○遠藤耕聖議長 以上で第7グループの質問を終わります。

次に、第8グループの質問に移ります。

南毛利中学校・加藤大宗議員。

平塚中等教育学校・近藤万里菜議員。

○19番 加藤大宗議員（登壇）南毛利中学校の加藤大宗です。よろしく申し上げます。

最近のアミューあつぎは、入場者が開館当時と比べると減っていると思います。アミューあつぎのコンセプトは、「A」集まる、遊び、厚木、「M」未来、「YU」夢、これらを組み合わせた造語で、この造語から、人が集まり遊ぶ、夢が持てる未来をつくろうという厚木市の意思がわかります。今は小・中学生の作品の展覧会をして、小・中学生に夢や未来を持ってほしいということが伝わってきて、とてもよいとは思いますが、人が集まる、遊ぶの部分は余り感じられないので、アミューあつぎ映画.comシネマの映画の宣伝をしたほうがよいと思います。もしくは、その映画館を海老名市のような大きなTOHOシネマズ等にすれば、映画目的で海老名市に行く人が、厚木市で映画を見ようというようになると思います。

質問します。アミューあつぎはいらぬという意見を少なくし、遊びやすく、人が集まるアミューあつぎに今後どのようにしていくのか、教えてください。

○20番 近藤万里菜議員（登壇）平塚中等教育学校の近藤万里菜です。よろしく申し上げます。

私はいつもアミューあつぎに行きますが、決まったお店にしか行きません。目的のお店で用事を済ませたら、すぐに帰ります。しかし、ほかのデパートでは長い間買い物をしていました。なぜここまで違うのか考えると、それはお店のつくりにあると考えました。特に食事についてです。アミューあつぎにも食事をするところはありますが、地下にあります。1階には登山用品など、買う人と買わない人の差が激しいお店ばかりです。では、もし食事をするところが1階にあったらどうでしょうか。私は、アミューあつぎに立ち寄る人がふえていくと思います。

質問します。なぜアミューあつぎの食事をするところを地下に作ったのですか。教えてください。

○遠藤耕聖議長 市長。

○小林常良市長（登壇）南毛利中学校・加藤大宗議員から、アミューあつぎはいらぬ

という意見を少なくし、遊びやすく、人が集まるアミューあつぎに今後どのようにしていくのかとのご質問です。

アミューあつぎでは、定期的にあつぎ青春劇場のカラオケ大会や落語会、入り口付近でのアコースティックライブを開催するなどして、集まる、遊びを創出していますが、新たに体験型イベントやハンドメイドマーケットなど、さらに多くの方の関心を集め、楽しみながらアミューあつぎにお越しいただける工夫を進めていきます。

また、映画館につきましては、ミニシアターとして開館以来多くの市民の皆様にご来館いただき、市民の皆様にあえられる日本一の映画館となるよう、現在、スタッフ一同努力されていますので、加藤大宗議員も上映作品のリクエストなどをぜひいただき、市民のための映画館として盛り上げていただければと思います。

なお、アミューあつぎの平成27年度の年間利用者数は約319万9000人で、前年度と比較して約27万6000人の増加となっています。今後も、多くの市民の皆様にご利用いただけるよう、努めてまいります。

次に、平塚中等教育学校・近藤万里菜議員から、なぜアミューあつぎの食事をするところを地下に作ったのかとのご質問ですが、地下のスペースにつきましては、改修工事の際に、1階の床の一部を取り除いて吹き抜けを新設しています。この明るく開放的なエリアで食事を楽しんでいただけるよう、地下1階に飲食店を設置しました。

また、アミューあつぎには、1階及び9階にもそれぞれ1店舗ずつ飲食店があります。1階につきましてはパスタなどの食事も提供している喫茶店、9階の店舗につきましては厚木市産の地場野菜をふんだんに使ったランチやスムージーを提供するなど、それぞれの店舗で特色を出しています。

近藤万里菜議員には、アミューあつぎにお越しいただき、食事や買い物を楽しんでいただきますよう、お願いいたします。

○遠藤耕聖議長 以上で第8グループの質問

を終わります。

ただいまの第7及び第8グループの質問に対する答弁について、子ども議員から再質問はございますか。藤生議員。

○16番 藤生優毅議員 ご答弁ありがとうございました。再質問させていただきます。

本厚木駅南口の再開発があるとお聞きしましたが、それはどのような効果を見込んだものでしょうか。教えてください。

○石塚 修市街地整備部長 お答えをいたします。再開発事業というものは、古い木造住宅が建てかわることによって、例えば災害に強い建物になるといった効果がございます。本厚木駅南口の再開発につきましては、ほかに加えて3つご説明したいと思っております。1つは車、1つは歩行者、そして1つは自転車です。

まず車であります。現在の南口は、議員もごらんになったかどうかわかりませんが、朝晩はバス、タクシー、自家用車、たくさん車が入り乱れて、非常に混雑しております。こういった車を、例えばバスとタクシーを自家用車と分けて、皆さんが利用しやすいような駅前にする。こういうことを効果として見込んでおります。それが1点目です。

2点目ではありますが、歩行者ですけれども、現在も駅からおりてくる方、また駅を利用される方で、朝晩は非常に混雑しております。歩道が狭かったりしております。この歩道を約1.6倍広げて、例えば体の不自由な方、お年寄りの方も安心して歩けるような歩行者空間を確保してまいりたいと考えております。これが2点目です。

3点目は自転車です。皆さんも自転車をご利用になると思いますが、今、南口は自転車を置く場所がございません。再開発事業によりまして、約600台の自転車駐輪場を整備してまいりたいと考えております。

こういう3つの効果も含めて、本厚木駅南口の顔として、これからも市街地の整備を小林市長を先頭に進めてまいりたいと思っておりますので、ぜひ皆様も興味を持ってごらん

いただければと思います。よろしくお願いいいたします。

○遠藤耕聖議長 ほかになければ以上で終わります。

○遠藤耕聖議長 以上で本日の日程は終了いたしました。

これをもちまして、第2回あつぎ子ども議会中学生議会を閉会いたします。

○越智一久厚木市議会議長 皆様、本日は大変お疲れさまでした。

ここで、睦合中学校・早川くるみ議員より、子ども議員を代表して感謝の言葉をいただきます。

早川くるみ議員、お願いします。

○7番 早川くるみ議員（登壇）睦合中学校2年2組の早川くるみです。24人の子ども議員を代表して、お礼の言葉を申し上げます。

きょう、私たちは、厚木市議会議場に集まり、まちづくりや環境、自然災害防止などについて質問しました。それに対して、市長さんや各部長さんからわかりやすい答弁をいただき、とてもよい勉強になりました。

私たちが住んでいる厚木市は、豊かな自然に恵まれ、経済が活気にあふれるすばらしい場所です。このまちの大切な文化や伝統を受け継ぎ、守っていくために、たくさんの努力をしていかなければいけないと思いました。きょうの経験をこれからの学校生活に生かし、市民の1人として、これからの厚木市をみずから考え、行動していきたいと思います。

以上、子ども議員を代表してお礼の言葉とさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

子ども議員起立。礼。

着席。

○越智一久厚木市議会議長 ありがとうございました。

最後に、小林常良厚木市長から子ども議員にメッセージをいただきます。

○小林常良市長（登壇）皆さん、ありがとうございました。どうですか、感想は。今、早川くるみ議員から感謝のお言葉をいただきまして、まことにありがとうございます。

ふだんの生活の中から、こうあってほしいということも含めて、皆さんからどうしてこうなのだろうというご質問をいただいたわけでありまして、私たち行政の仕事が皆さんの生活の隅々まで行き渡るよう努力をしていきたいと思っております。

そのためには、まず1つには、環境がよくなるなくてはそれが実現しないわけでありまして。どういうものをどういう方法をもって課題解決に向けていくか。まず1点目は、市民の皆様方のお考えはどうかということが1つ。そして、私ども行政として、厚木市全体を見た中で、この事業は推進すべきだろうという判断をしていくことが1つ。

これで終わりではないのです。この2つは、先ほど冒頭お話しさせていただきました市民協働という市民の皆様と行政がともに汗をかいてつくり上げていきたいと思いますという基本的なスタンスがあって初めて、物事はまた具体的な形で成就していくわけでありまして。もう1つ大切なことを、皆さん、頭に入れておいていただければと思います。

先ほど税金のお話が出ておりました。皆さんのご家族や多くの市民の人たちに税金を納めていただいております。その税金は私どもがお預かりさせていただいております。その税金というのがベースとなって、いろいろな仕事をする上での原資となってくるわけでありまして。

厚木市の財政は、市民の皆さんから納めていただく税金だけでは——平成28年度は約805億円の一般会計で、全部の予算は約1500億円になりますけれども、皆さんから納めていただく税金にプラスして、この市役所内部の改革をしてお金を生み出す。本当に必要な仕事なのか、そうでないかをしっかりと見きわめていく。言いかえると無駄をなくしていく。また、大きい事業は厚木市の税金だけでは賄い切れませんので、国とか神奈川県から

の支援もいただいて、大事業に着手をしていくということでもあります。

一番大切なことは、厚木市は今、年間1100から1200の事業を行っておりますが、冒頭申し上げましたように、大切なことは皆さん市民一人一人に幸せを感じていただくことだと思います。早川くるみ議員から厚木市のよさの話をいただきました。先日、都内に近い方が私と同じ場所において、話が出ました。厚木市さんはどうしてこんなに環境に恵まれているのですかということでした。厚木市のまちの中、そして緑豊かな自然、山、川、このよさを多くの市民の皆さんは誇りに思っていますということをお伝えいたしました。都心、また横浜市を含めて向こうの方面の人たちは、厚木市のよさを強く感じていられて、もっと誇りを持っていただきたいというコメントも私にいただいたところでもあります。

子ども議員の皆様には未来があります、希望があります。どうぞそういう思いを持ちながら、日々の勉強、またクラブ活動等々もある中で、しっかりと自分の道をきわめながら、社会は多くの人たちの幸せをつくるために進んでいく、そのために厚木市は全身全霊をもって市民の幸せづくりのために努力をしていきたい。そういう思いをお伝えして、きょうは中学生の皆さんにお会いできましたことに心から感謝申し上げ、最後まで傍聴いただきました皆様方、そして越智厚木市議会議長を初め市議会議員の皆様のご協力に深く感謝申し上げて、私からのお礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。

○越智一久厚木市議会議長 ありがとうございました。

以上をもちまして、終了とさせていただきます。

午後 3 時 29 分 閉会

上記会議のてんまつを記載し、その相違ないことを証し、ここに署名する。

厚木市議会議長 越 智 一 久

子ども議員 庄 司 夕 姫
同 高 津 良 介
同 古根村 茅 咲